

ふるさとふちゅう

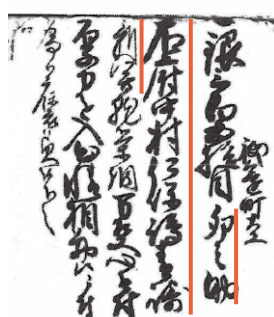
再発見

【第48回】 府中が農村だったころ（8） 青崎新開（2）

青崎新開の干拓工事は安永3（1774）年に藩営事業として始まりました。史料『安芸府中町史第2巻』では「府中村川掘二付、砂捨場仁保島両村抱之所」へ「新開築調申付候」と記されています。当初は浅くなった府中大川の氾濫防止が主な狙いであつたようです。

江戸時代の府中村の新開地は現在9か所が確認されていますが、多くが17世紀の後半までに終わっています。当時の土木技術で干拓可能な地は早くから干拓され、難しい場所が残されたのです。9か所のうち18世紀の完成は青崎新開のみです。湿地であつた大須新開などに比べ、青崎新開は海に向かつた干潟の干拓のために潮止め堤防を築くことが難しかったのです。工事時間が干潮時に限られ、堤防を築く地点が干潟の軟弱地盤で杭の打ち込みや石垣を積むのも困難です。せっかく築いた堤防も全体が完成するまでは常に海水で崩される危険性もありました。

江戸時代に広島市安佐南区の太田川西岸の農地へ水を引いた八木用水は現在も活用されており有名です。これは明和5（1768）年に祇園町（現



祇園町の太田桑原卯之助への褒状

府中町文化財保護審議会委員

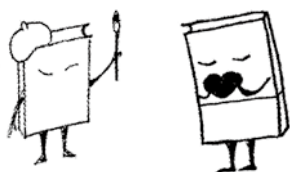
菅 信博

工事は安永5年（1776）に竣工しました。文政年間に刊行された広島藩の地誌『芸藩通志』では面積は府中村分10町余と仁保島分15町歩となっています。府中村分は約10万平方メートルとなり、前号の地図に合致します。

図書館からの
今月読むならコレ！

町立図書館 ☎286-3405

図書館職員が
選んだおすすめ
図書を紹介



もうねむるじかん

エイミー・ヘスト／ぶん
レナータ・リウスカ／え
いわじよう よしひと／やく
岩崎書店／出版

ねむるじかん、パパがまちきれなくて、こうさぎは、おみず、もうふ、クッキー、えほんをよういしてパパのへやへ……。しずかな時間が流れ、やさしく、あたたかなタッチの絵と共に癒される一冊。

体育科高校
（中学生のキミと学校調べ）

山下 久猛／著
ぺりかん社／出版

「普通科」以外の高校での学びを紹介する「なるにはBOOKS 高校調べ」シリーズ最新刊。体育科ならではの学びや部活動、卒業後の進路など、体育科の魅力について、先生や生徒、卒業生へのインタビューを交えながら詳しく解説。

1月の
休日診療当番医

1/1(水祝) 岡原内科皮膚科クリニック 大須 ☎561-0303
1/2(木) 太田整形外科 大通 ☎510-5107
1/2(木) いい歯科クリニック 大須 ☎287-0648
1/3(金) 白根耳鼻咽喉科 鶴江 ☎510-3322
1/3(金) 竹下歯科医院 桃山 ☎285-1110
1/5(日) 藤東クリニック 茂陰 ☎284-2410

1/12(日) 益田眼科 大須 ☎282-5058
1/13(月祝) 前野医院 石井城 ☎281-2334
1/19(日) かわさ耳鼻咽喉科・アレルギー科 桃山 ☎581-8733
1/26(日) おがき脳神経クリニック 桃山 ☎581-1001
2/2(日) 向洋駅前心療クリニック 青崎中 ☎286-2335
2/9(日) 唐崎耳鼻咽喉科 宮町 ☎284-0333

LINE 府中町LINE公式アカウント
友だち募集中！

友だち追加で、
毎月1日に
広報ふちゅう
もお届け！